

# 東欧3カ国の官僚が来日

## 21日に大田区の南武を視察

ウクライナ、ベラルーシ、モルドバの東欧三カ国の官僚Ⅱ写真Ⅱが外務省の招きで来日、日本の中小企業を訪問し、経営者らと意見交換を行った。二十一日訪問した油圧シリンダーメーカーの南武(東京・大田区)では、自動車用エンジンやインストルメントパネルなどの

量産に使用される同社の高機能シリンダー、製鉄巻き取り機といった自社製品群を世界展開している状況について説明を受け、中小企業政策に関わる一人は「グローバルにビジネス展開されている貴社は中小企業なのか? 中小企業とすればどのような国家支援を受けてい



るのか?」と質問を投げたところは、旧共産圏らしい思考法か。

ウクライナは国家投資

イノベーション庁副長官、調整政策・企業家国家委員会中小企業振興局長、ベラルーシは経済省企業局局长、ミンスク首都企業家・雇業者連盟会長、モルドバは経済貿易省次官、経済貿易省日本無償資金実施機関主任会計官の計6名。

受け入れ側の南武の野村和史社長は「日本にも特別償却などの助成があるが、基本は自助努力。

当社ではアジアのほぼ全域をカバーできるような代理店を置き、北米にはメンテナンスを行える委託先があり、西欧にも代理店を設けている。現在、東欧に代理店などはないが自動車産業の拡大が見込まれ、昨年末に来訪されたロシアの企業家の方々との面談でも要望を受けたこともあり、取引を始めたかとの意思はある。日本の大手商社からは代理店に前向きな回答を得ている」と述べた。